

交通事故の状況

統計の出典

交通事故統計・・・P1～P20

- ・警察庁「交通事故統計」
- ・（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

自動車保有車両数・・・P21～P22

- ・国土交通省「自動車保有車両数」

自動車事故報告規則に基づく報告・・・P23

※本資料中の関東データは、関東運輸局管轄内(東京、神奈川、埼玉、群馬、千葉、茨城、栃木、山梨)の営業所に所属する事業用自動車が第1当事者となった事故を示している。

用語の定義

- (1)「交通事故」とは、道路交通法第2条第1項第1号に規定する道路において、車両等及び列車の交通によって起こされた事故で、人の死亡又は負傷を伴うもの（人身事故）並びに物損事故
- (2)「死者数」とは、交通事故発生から24時間以内に死亡した人数
- (3)「重傷者数」とは、交通事故によって負傷し、30日以上の治療を要する人数
- (4)「軽傷者数」とは、交通事故によって負傷し、30日未満の治療を要する人数
- (5)「事故類型」とは、事故をまず当事者の種類（人又は車両）によって分類し、次いで当事者の事故時の行動等（動き、位置、衝突物等）によってさらに細かく分類したもの
- (6)「人対車両」とは、当該事故の第2当事者が歩行者等である事故
- (7)「車両相互」とは、当該事故の第1当事者及び第2当事者がいずれも車両等（列車を除く。）である事故
- (8)「車両単独」とは、第2当事者が「駐車車両（運転者不在）」、「物件」、「相手なし」である事故
- (9)「歩行者等」とは次の者をいう
 - ・一般歩行者
 - ・ローラースケート、スケートボード、一輪車等の自走式遊技機で遊んでいる者
 - ・電動式若しくは手動式の車いすに乗っている者又はこれを押している者
 - ・小児用の車に乗っている者又はこれを押している者
 - ・自動二輪車、二輪の原動機付き自転車、二輪若しくは三輪の自転車を押している者
 - ・乳母車に乗っているもの若しくはこれを押している者
 - ・一般歩行者に背負われ又は抱かれている者
 - ・担架に載せられている者
- (10)「車両等」とは次のものをいう
 - ・乗用車
 - ・貨物車
 - ・特殊車（農耕トラクター、耕耘機、ロードローラー、ショベルローダー、カタピラを有する自動車等）
 - ・二輪車（自動二輪、原動機付き二輪）
 - ・軽車両（自転車、駆動補助機付自転車、リヤカー、荷車、牛馬車等）
 - ・「大型」とは、車両総重量11t以上又は最大積載量6.5t以上若しくは乗車定員が30人以上
 - ・「中型」とは、車両総重量7.5t以上11t未満又は最大積載量4.5t以上6.5t未満若しくは乗車定員が11人以上29人以下
 - ・「準中型」とは、車両総重量3.5t以上7.5t未満又は最大積載量2t以上4.5t未満
 - ・「普通」とは、大型、中型、準中型以外
 - ・「軽」とは、総排気量が660CC以下

1. 2025年の全交通事故発生状況

- ①前年と比較すると、全国では重傷事故及び重傷者数を除く全ての項目が減少している。
②関東では交通事故、死傷者数、死者数を含む全ての項目で増加しており、全国とは異なる傾向を示している。

全国

事故形態	発生件数	増減数	前年比
交通事故	287, 023件	-3, 872件	-1. 3%
死亡事故	2, 495件	-103件	-4. 0%
重傷事故	26, 145件	235件	0. 9%
軽傷事故	258, 383件	-4, 004件	-1. 5%
死傷者数	341, 055人	-6, 003人	-1. 7%
死者数	2, 547人	-116人	-4. 4%
重傷者数	27, 563人	278人	1. 0%
軽傷者数	310, 945人	-6, 165人	-1. 9%

関東

事故形態	発生件数	増減数	前年比
交通事故	101, 055件	761件	0. 8%
死亡事故	725件	10件	1. 4%
重傷事故	7, 918件	114件	1. 5%
軽傷事故	92, 412件	637件	0. 7%
死傷者数	118, 212人	699人	0. 6%
死者数	738人	8人	1. 1%
重傷者数	8, 264人	127人	1. 6%
軽傷者数	109, 210人	564人	0. 5%

2. 2025年の事業用自動車事故発生状況

- ①前年と比較すると、全国及び関東ともに死亡事故及び死者数は減少している。
- ②全国・関東ともに重傷事故及び重傷者数は増加しており、特に関東では重傷事故が前年比14.6%増、重傷者数が15.9%増と全国（7.9%、3.4%）を大きく上回っている。

全国

事故形態	発生件数	増減数	前年比
交通事故	22,828件	205件	0.9%
死亡事故	252件	-25件	-9%
重傷事故	2,015件	147件	7.9%
軽傷事故	20,561件	83件	0.4%
死傷者数	27,259人	82人	0.3%
死者数	255人	-31人	-10.8%
重傷者数	2,110人	162人	3.4%
軽傷者数	24,894人	-49人	-0.2%

関東

事故形態	発生件数	増減数	前年比
交通事故	9,587件	225件	2.4%
死亡事故	85件	-13件	-13.3%
重傷事故	776件	99件	14.6%
軽傷事故	8,726件	139件	1.6%
死傷者数	11,191人	161人	1.5%
死者数	86人	-18人	-17.3%
重傷者数	808人	111人	15.9%
軽傷者数	10,297人	68人	0.7%

3-1. バス 関東の 関東管内の事故類型別・人身事故件数

①車内事故は117件で全体の 31.0% を占め、単独事故157件のうち 74.5% を占めている。さらに重傷事故40件のうち 14件（35.0%） が車内事故で発生。

②車両相互事故は159件で全事故の 42.1% を占めており、最も多い事故類型となっている。特に、追越・追抜時衝突40件（25.2%）、駐・停車中への追突34件（21.4%）、出会い頭衝突20件（12.6%）が多く発生。

【2025年】

（単位：件）

			バス															
			乗合				貸切				その他				合計			
			死亡	重傷	軽傷	計	死亡	重傷	軽傷	計	死亡	重傷	軽傷	計	死亡	重傷	軽傷	計
人対車両	対面通行中		0	0	2	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	3	3
	背面通行中		0	1	5	6	0	0	3	3	0	0	0	0	0	1	8	9
	横断中	横断歩道	1	4	16	21	0	0	3	3	0	0	0	0	1	4	19	24
		横断歩道付近	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
		横断歩道橋付近	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他①	1	1	8	10	0	2	3	5	0	0	0	0	1	3	11	15
	路上遊戯中		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	路上作業中		0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	路上停止中		0	0	2	2	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	5	5
	路上横臥中		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他②		1	2	16	19	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	16	19
小計		3	8	51	62	0	2	13	15	0	0	0	0	3	10	64	77	
車両相互	正面衝突	追越・追抜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他③	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	追突	進行中	0	0	4	4	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	5	5
		駐・停車中	0	0	34	34	0	0	21	21	0	0	0	0	0	0	55	55
	出会い頭衝突		0	1	19	20	0	0	5	5	0	0	0	0	0	1	24	25
	追越・追抜時衝突		0	8	32	40	0	1	5	6	0	0	0	0	0	9	37	46
	進路変更時衝突		0	0	6	6	1	0	4	5	0	0	0	0	1	0	10	11
	すれ違い時衝突		0	0	9	9	0	0	5	5	0	0	0	0	0	0	14	14
	左折時衝突		0	1	9	10	0	0	4	4	0	0	0	0	0	1	13	14
	右折時衝突		0	3	12	15	0	0	8	8	0	0	0	0	0	3	20	23
	横断時衝突		0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1
	転回時衝突		0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	後退時衝突		0	0	5	5	0	0	4	4	0	0	0	0	0	0	9	9
	その他④		0	3	12	15	0	0	4	4	0	0	0	0	0	3	16	19
小計		0	16	143	159	1	1	62	64	0	0	0	0	1	17	205	223	
車両単独	工作物衝突	電柱	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
		標識	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		分離帯・安全島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		防護柵等	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
		家屋・塀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		橋梁・橋	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他⑤	0	1	3	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	4
	駐車車両（運転者不在中）衝突		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	路外逸脱	転落	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他⑥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	転倒		0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
車内事故		0	14	103	117	0	0	1	1	0	0	0	0	0	14	104	118	
その他⑦		0	1	31	32	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	31	33	
小計		0	16	141	157	0	1	1	2	0	0	0	0	0	17	142	159	
列車			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計			3	40	335	378	1	4	76	81	0	0	0	0	4	44	411	459

注） ・その他①：横断歩道、横断歩道付近、及び横断歩道橋付近以外の道路の部分歩行者が横断していたときに事故が発生したことをいう。
・その他②：上記のいずれの項目にも該当しない場合をいう。
・その他③：相対する方向から進行（前進）してきた車両と向き合ったまま衝突した場合をいう。
・その他④：車両相互事故のうち、上記のいずれの類型にも該当しないものをいう。
・その他⑤：車両単独の工作物への衝突のうち、上記のいずれにも該当しない場合をいう。
・その他⑥：転落以外の状態で道路外逸脱したことをいい、道路と接続する空地等（道交法上の道路でない部分）へ飛び込んでいった場合等をいう。
・その他⑦：車両単独のうち上記のいずれの類型にも該当しない場合をいう。

3-2. 乗合バス 全国の時間帯別車内事故件数

- ①車内事故は日中から夕方にかけて集中しており、特に8～9時（52件）と16～17時（52件）が最多となっている。
- ②重傷事故51件のうち、16～17時が13件、12～13時が12件と高い割合を占めている。

【2025年】

（単位：件）

	時間帯	6～7	8～9	10～11	12～13	14～15	16～17	18～19	20～21	22～23	24～1	2～3	4～5	合計
乗合	重傷	2	8	5	12	5	13	3	2	1	0	0	0	51
	軽傷	11	44	42	36	33	39	22	13	1	0	0	0	241
	負傷計	13	52	47	48	38	52	25	15	2	0	0	0	292

3-3. 乗合バス 全国の行動類型別車内事故件数

- ①車内事故292件のうち123件（41.1%）が発進時に発生しており、最も多い行動類型となっており、乗客の着席・姿勢保持が不十分な状態で車両を発進させた際に負傷が発生しやすいことがうかがえる。
- ②発進、直進加速、直進減速、急停止を合わせた加減速関連事故は210件となり、全体の71.9%を占めており、車両の速度変化に伴う乗客の転倒・よろめきが主な要因であることが推察される。

【2025年】

（単位：件）

行動類型		発進	直進			急停止	右左折	その他	合計
			加速	等速	減速				
乗合	重傷	32	2	2	3	8	0	4	51
	軽傷	91	9	43	23	42	12	21	241
	負傷計	123	11	45	26	50	12	25	292

4-1. タクシー 関東の業態別、事故類型別・人身事故件数

- ①関東管内における事故は3,812件発生し、その約7割を車両相互事故が占めている。事故類型では出会い頭衝突（713件、18.7%）が最も多く、次いで追突（駐停車中）（496件）、右折時衝突（372件）の順となっている。また、人対車両事故では横断歩行者との事故が中心であり、特に横断歩道上での事故が多い。
- ②重傷事故288件のうち、「出会い頭衝突」が54件で最多、次いで「右折時衝突」44件、「横断歩道横断中」41件となっている。
- ③死亡事故13件のうち、人対車両事故が7件（53.8%）、車両相互事故が3件（23.1%）、車両単独事故が3件（23.1%）となっている。人対車両では「路上横臥中」が4件と最も多く、車両相互では「右折時衝突」が2件発生している。

【2025年】

(単位:件)

			法人				個人				その他乗用				合計			
			死亡	重傷	軽傷	計	死亡	重傷	軽傷	計	死亡	重傷	軽傷	計	死亡	重傷	軽傷	計
人対車両	対面通行中		0	3	32	35	0	2	3	5	0	0	1	1	0	5	36	41
	背面通行中		0	3	60	63	0	1	8	9	0	0	2	2	0	4	70	74
	横断中	横断歩道	1	34	308	343	1	6	27	34	0	1	0	1	2	41	335	378
		横断歩道付近	0	6	16	22	0	0	6	6	0	0	0	0	0	6	22	28
		横断歩道橋付近	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
		その他①	1	13	123	137	0	2	7	9	0	0	2	2	1	15	132	148
	路上遊戯中		0	0	2	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	3	3
	路上作業中		0	0	11	11	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	12	12
	路上停止中		0	3	37	40	0	0	6	6	0	0	0	0	0	3	43	46
	路上横臥中		4	4	5	13	0	1	1	2	0	0	0	0	4	5	6	15
その他②		0	8	70	78	0	1	10	11	0	0	0	0	0	9	80	89	
小計		6	74	666	746	1	13	70	84	0	1	5	6	7	88	741	836	
車両相互	正面衝突	追越・追抜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他③	0	2	18	20	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	19	21
	追突	進行中	1	2	46	49	0	1	5	6	0	0	0	0	1	3	51	55
		駐・停車中	0	11	417	428	0	2	47	49	0	0	19	19	0	13	483	496
	出会い頭衝突		0	48	604	652	0	5	47	52	0	1	8	9	0	54	659	713
	追越・追抜時衝突		0	27	210	237	0	3	26	29	0	0	1	1	0	30	237	267
	進路変更時衝突		0	2	129	131	0	1	10	11	0	0	0	0	0	3	139	142
	すれ違い時衝突		0	1	23	24	0	0	5	5	0	0	0	0	0	1	28	29
	左折時衝突		0	13	203	216	0	1	14	15	0	0	3	3	0	14	220	234
	右折時衝突		1	38	305	344	1	5	18	24	0	1	3	4	2	44	326	372
	横断時衝突		0	3	8	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	8	11
	転回時衝突		0	10	57	67	0	1	2	3	0	0	0	0	0	11	59	70
	後退時衝突		0	4	106	110	0	0	6	6	0	0	0	0	0	4	112	116
	その他④		0	8	153	161	0	2	23	25	0	0	1	1	0	10	177	187
小計		2	169	2,279	2,450	1	21	203	225	0	2	36	38	3	192	2,518	2,713	
車両単独	工作物衝突	電柱	1	0	13	14	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	13	14
		標識	0	1	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3
		分離帯・安全島	0	0	11	11	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	12	12
		防護柵等	0	0	13	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	13
		家屋・塀	0	1	13	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	13	14
		橋梁・橋	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
		その他⑤	0	1	23	24	1	0	2	3	0	0	1	1	1	1	26	28
	駐車車両（運転者不在中）衝突		1	0	10	11	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	10	11
	路外逸脱	転落	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他⑥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	転倒		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他⑦		0	4	153	157	0	1	9	10	0	0	0	0	0	5	162	167
	小計		2	7	239	248	1	1	12	14	0	0	1	1	3	8	252	263
列車		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計		10	250	3,184	3,444	3	35	285	323	0	3	42	45	13	288	3,511	3,812	

注）・その他①：横断歩道、横断歩道付近、及び横断歩道橋付近以外の道路の部分歩行者が横断していたときに事故が発生したことをいう。
・その他②：上記のいずれの項目にも該当しない場合をいう。
・その他③：相対する方向から進行（前進）してきた車両と向き合ったまま衝突した場合をいう。
・その他④：車両相互事故のうち、上記のいずれの類型にも該当しないものをいう。
・その他⑤：車両単独の工作物への衝突のうち、上記のいずれにも該当しない場合をいう。
・その他⑥：転落以外の状態で道路外逸走したことをいい、道路と接続する空地等（道交法上の道路でない部分）へ飛び込んでいった場合等をいう。
・その他⑦：車両単独のうち上記のいずれの類型にも該当しない場合をいう。

4-2. タクシー 関東の 業態別・行動類型等別 死亡事故件数

①死亡事故13件のうち、直進中が10件（76.9%）を占めている。このうち「直進等速」が9件と最も多く、死亡事故の約7割（69.2%）に達している。

②道路形状別では、交差点内6件と交差点付近1件を合わせると7件となり、全死亡事故の53.8%を占めている。

③時間帯別では、22～24時が4件で最も多く、20～24時では6件（46.2%）となっている。また、0～4時も4件（30.8%）発生しており、20時から翌4時までの夜間・深夜帯で10件と全体の76.9%を占める。

【2025年】

（単位：件）

			法人	個人	合計
行動類型	発進		0	0	0
	直進	加速	0	1	1
		等速	8	1	9
		減速	0	0	0
	追越 追抜		0	0	0
	進路変更	右に	0	0	0
		左に	0	0	0
	左折		0	0	0
	右折時	専用車線利用	1	1	2
		その他	1	0	1
合計		10	3	13	
道路形状	交差点	環状交差点	0	0	0
		その他	3	3	6
	交差点付近	環状交差点	0	0	0
		その他	1	0	1
	単路	トンネル	0	0	0
		橋	1	0	1
		カーブ・屈折	0	0	0
		その他	5	0	5
		踏切	第一種	0	0
	第三種		0	0	0
	第四種		0	0	0
	その他		0	0	0
	合計		10	3	13
時間帯	0～2		2	0	2
	2～4		1	1	2
	4～6		1	0	1
	6～8		0	0	0
	8～10		1	0	1
	10～12		0	0	0
	12～14		0	0	0
	14～16		1	0	1
	16～18		0	0	0
	18～20		0	0	0
	20～22		2	0	2
	22～24		2	2	4
	合計		10	3	13

特定（その他乗用）については死亡事故件数が0件のため非表示

転回・後退・横断・蛇行・逆走・急停止・停止・その他は関東では0件のため非表示

4-3. タクシー 全国の 業態別、危険認知速度等別人身事故件数 【出会い頭と全ての合計】

①出会い頭の事故が全体の約2割を占めている。

②出会い頭事故は危険認知速度30km/h以下が88.2%を占め、交差点及び交差点付近で90.6%が発生している。

【2025年】

(単位：件)

				事故件数 ※（ ）内は死亡事故数								
				法人		個人		その他		合計		
				出会い頭	合計	出会い頭	合計	出会い頭	合計			
危険 認知 速度	10km/h以下			748	3,730(5)	57	297	20	76	825	4,103(5)	
	20km/h以下			405	1,955(3)	20	128	9	48	434	2,131(3)	
	30km/h以下			211	904(4)	15	79(2)	4	25	230	1,008(6)	
	40km/h以下			109(1)	618(2)	9	47	2	16	120(1)	681(2)	
	50km/h以下			57	336(4)	3	34(1)	2	9	62	379(5)	
	60km/h以下			9	103(4)	3	11	1	5	13	119(4)	
	70km/h以下			0	20	0	2	0	0	0	22	
	80km/h以下			0	8(2)	0	0	0	0	0	8(2)	
	90km/h以下			0	3	0	0	0	0	0	3	
	100km/h以下			0	3	0	1(1)	0	0	0	4(1)	
	120km/h以下			0	0	0	0	0	0	0	0	
	120km/h超			0	0	0	0	0	0	0	0	
	不明			5	21	0	4(1)	0	2	5	27(1)	
道路 形状	交差点	環状交差点		0	0	0	0	0	0		0	
		その他		1,358(1)	3,843(7)	99	300(3)	32	78	1,489(1)	4,221(10)	
	交差点付近	環状交差点付近		0	0	0	0	0	0	0	0	
		その他		40	1,239(3)	0	94(1)	2	31	42	1,364(4)	
	単路	トンネル		1	9	0	3	0	2	1	14	
		橋		0	45(1)	0	5	0	1	0	51(1)	
		カーブ屈折		2	118(1)	0	8	0	4	2	130(1)	
		その他		135	2,160(11)	8	173(1)	4	60	147	2,393(12)	
	踏切			0	3	0	1	0	0	0	4	
一般交通の場所			8	284(1)	0	19	0	5	8	308(1)		
衝突 地点	(交 差 点 付 近 含 む)	歩道	自転車通行指定部分		8	17	1	2	1	1	10	20
			その他		47	164	1	9	0	1	48	174
		路側帯		4	95(1)	0	13	0	1	4	109(1)	
		非分離道路		20	421(4)	2	28	1	11	23	460(4)	
		自転車道		0	0	0	1	0	0	0	1	
		自転車専用通行帯		0	9	0	2	0	0	0	11	
		第一通行帯		70	1,851(7)	4	159(1)	1	57	75	2,067(8)	
		第二通行帯以上		26	871(3)	0	60(1)	3	25	29	956(4)	
		左折専用車線		0	5	0	1	0	0	0	6	
		右折専用車線		0	28	0	2	0	0	0	30	
		加減速車線		0	4	0	0	0	0	0	4	
		登板車線		0	6	0	0	0	0	0	6	
		交差点内	横断歩道		181	1164(2)	10	85(1)	2	25	193	1,274(3)
	自転車横断帯		11	35	1	1	1	1	13	37		
	自転車道		3	6	0	1	1	1	4	8		
	自転車専用通行帯		0	3	0	0	0	0	0	3		
	その他		1,161(1)	2,627(5)	88	213(2)	28	51	1,277(1)	2,891(7)		
	その他			13	395(2)	0	26	0	7	13	428(2)	

4-4. タクシー 全国の 業態別・行動類型等別人身事故件数 【出合い頭と全ての合計】

①行動類型では直進等速時が最も多く、人的要因では「安全確認が不十分だった」及び「安全確認をしなかった」が全体の78.4%を占めている。

②死亡事故についても安全確認不足や漫然運転が主な要因となっている。

【2025年】

(単位：件)

				事故件数 ※（ ）内は死亡事故数								
				法人		個人		その他		合計		
				出合い頭	合計	出合い頭	合計	出合い頭	合計	出合い頭	合計	
行動類型	発進			346	1,176(1)	22	99	5	22	373	1,297(1)	
	直進	加速		74	157	4	13(2)	0	4	78	174(2)	
		等速		611(1)	2,051(16)	43	174(2)	16	66	670(1)	2,291(18)	
		減速		137	519	10	44	3	19	150	582	
	追越・追抜			0	30	0	7	0	1	0	38	
	進路変更	右に		0	174	0	14	0	1	0	189	
		左に		1	343	0	25	0	0	1	368	
	左折			166	833(1)	12	59	7	26	185	918(1)	
	右折時	専用車線利用		12	318(3)	0	21(1)	0	2	12	341(4)	
		その他		175	973(1)	16	70	7	24	198	1,067(1)	
	転回			6	223(1)	0	16	0	3	6	242(1)	
	後退			3	474(1)	0	28	0	10	3	512(1)	
	横断			10	29	0	0	0	0	10	29	
	急停止			2	106	0	2	0	0	2	108	
	停止			0	228	0	24	0	2	0	254	
駐車（運転者在）			0	14	0	0	0	0	0	14		
その他			1	53	0	7	0	1	1	61		
人的要因	発見の遅れ	前方不注意	内在的	居眠り運転	2	25	0	0	0	0	2	25
				ラジオ・ステレオ等を聞いていた	0	3	0	0	0	0	0	3
				雑誌や携帯電話等で話をしていた	10	25	0	3	0	0	10	28
				その他、考え事等の漫然運転	103	503(7)	5	30	3	23	111	556(7)
			外在的	物を落とした、物を取ろうとした	2	52	1	3	0	1	3	56
				同乗者、同乗の動物等に脇見	6	32	0	2	0	3	6	37
				スマートフォン、携帯電話等を見ていた、操作していた	1	9	0	2	2	4	3	15
				テレビ、ナビゲーション装置を見ていた、操作していた	14	57	1	1	0	0	15	58
		安全不確認	雑誌、地図帳等を見ていた	0	16	0	0	0	2	0	18	
			道、案内標識等を探して脇見	15	83	1	9(1)	1	4	17	96(1)	
			風景、地物等に脇見	20	145(1)	1	13	0	6	21	164(1)	
			他の車、歩行者に脇見	26	225(1)	4	30	1	5	31	260(1)	
			バックミラーやドアミラーを見ていた	0	12	0	2	0	0	0	14	
			その他の脇見	21	238(1)	1	17	2	6	24	261(1)	
			安全確認をしなかった	361	1,566(5)	22	105	7	29	390	1,700(5)	
			安全確認が不十分だった	853	3,396(7)	61	281(2)	20	66	934	3,743(9)	
	判断の誤り等	動静不注視	相手が譲ってくれると思って注視を怠った	12(1)	56(1)	0	5	0	0	12(1)	61(1)	
			他の危険を避けようとして注視を怠った	2	34	0	3	0	2	2	39	
			その他特に具体的危険性がないとして注視を怠った	22	502(1)	2	39	0	14	24	555(1)	
			運転感覚（速度、車幅、距離等）を誤った	4	47	1	4	0	3	5	54	
		予測不適	相手がルールを守ると思った	2	4	0	0	0	0	2	4	
			相手が譲ってくれる、停止してくれると思った	4	12	0	1	0	0	4	13	
			他の事故（危険）を避けようと思った	0	4	0	0	0	0	0	4	
			その他相手の行動予見等の判断を誤った	4	39	0	1	0	0	4	40	
			交通環境	道路形状、道路線形に対する認識を誤った	6	6	2	3	0	0	8	9
				道路環境（路面凍結や霧など）に対する認識を誤った	3	10	0	0	0	0	3	10
	操作上の誤り	操作不適	交通規制に対する認識を誤った	31	44	2	2	1	1	34	47	
			交通安全施設に対する認識を誤った	6	7	1	1	0	0	7	8	
			障害物等に対する認識を誤った	0	0	0	0	0	0	0	0	
			その他の交通環境に対する認識を誤った	8	12	0	0	0	0	8	12	
			ブレーキとアクセルの踏み違い	2	52	0	7(1)	1	2	3	61(1)	
			ブレーキの踏みが弱い、踏み遅れ	4	163	0	14	0	3	4	180	
			急ブレーキをかけた	0	129	0	4	0	0	0	133	
			エンジン・ブレーキを使用しなかった	0	3	0	0	0	0	0	3	
			その他のブレーキ操作不適	0	63	1	8	0	3	1	74	
			ブレーキをかけながらハンドル操作	0	10	0	0	0	0	0	10	
蛇行・逆走は関東では0件のため非表示	蛇行・逆走は関東では0件のため非表示	その他のハンドルの操作不適	0	53	0	6	0	2	0	61		
		ギアの入れ違い	0	7	0	0	0	1	0	8		
		その他の操作不適	0	47	1	5	0	0	1	52		
		他の車両等の通行を妨害する目的で運転した	0	1	0	0	0	0	0	1		
		調査不能「運転者（自転車等以外）で人的要因が不明の場合」	0	9	0	2(1)	0	1	0	12(1)		
		人的要因なし「運転者（自転車等以外）で人的要因がない場合」	0	0	0	0	0	0	0	0		

4-5. タクシー 全国の
空車時/空車時以外別、時間帯別、状態等別
出合い頭事故の死傷者数

空車時が75%、空車時以外が25% 参考：2024年度実車率46%
空車時は自転車乗車中が50%、次いで、自動車乗車中が33%
空車時以外は自動車乗車中が72%、次いで、自転車乗車中が21%

【2025年】

(単位:人)

相手方年 年齢			空車時										空車時以外									
			6歳 以下	7～15	16～24	25～34	35～44	45～54	55～64	65～74	75歳 以上	合計	6歳 以下	6～15	16～24	25～34	35～44	44～54	55～64	65～74	75歳 以上	合計
法人	時間帯	0～2	0	0	27	11	14	11	7	3	1	74	0	0	8	9	12	2	2	2	0	35
		2～4	0	0	6	12	8	7	8	3	0	44	0	0	7	10	2	3	2	1	0	25
		4～6	0	0	2	7	5	11	5	1	0	31	0	0	5	9	4	7	7	1	1	34
		6～8	0	3	12	13	16	16	10	5	5	80	0	3	1	1	2	3	3	2	2	17
		8～10	1	8	35	35	32	27	18	15	10	181	1	0	9	15	6	11	13	3	3	61
		10～12	0	8	21	27	15	16	24	12	16	139	0	0	5	11	0	15	8	4	9	52
		12～14	2	6	17	15	16	16	13	5	12	102	0	1	9	7	4	8	8	5	2	44
		14～16	5	10	22	24	24	25	21	7	8	146	0	4	5	5	5	8	6	3	12	48
		16～18	1	20	25	18	25	30	18	11	9	157	0	2	8	9	3	7	1	5	3	38
		18～20	3	6	23	27	31	25	15	8	10	148	3	4	4	5	7	5	7	3	2	40
		20～22	0	4	29	19	14	24	12	6	0	108	0	0	4	8	4	9	6	0	4	35
		22～24	0	2	18	17	20	14	7	3	1	82	0	0	14	13	7	4	6	3	2	49
		計	12	67	237	225	220	222	158	79	72	1,292	4	14	79	102	56	82	69	32	40	478
	状態別	自動車乗車中	2	12	48	74	79	95	68	33	18	429	3	5	49	79	44	54	58	24	28	344
		自動二輪車乗車中	0	0	26	21	23	23	13	3	2	111	0	0	4	5	2	6	2	1	1	21
		原付自転車乗車中	0	0	30	23	7	14	8	5	8	95	0	0	4	2	0	6	0	1	1	14
		自転車乗車中	10	55	133	106	111	88	68	38	43	652	1	9	22	16	10	16	9	6	10	99
		特定小型原付	0	0	0	1	0	2	1	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		歩行中	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	12	67	237	225	220	222	158	79	72	1,292	4	14	79	102	56	82	69	32	40	478	
個人	時間帯	0～2	0	0	0	1	0	2	1	0	0	4	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2
		2～4	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	2	0	0	0	0	4
		4～6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		6～8	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		8～10	0	0	1	2	1	1	1	1	0	7	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
		10～12	0	0	2	1	1	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		12～14	0	0	2	3	3	4	1	1	0	14	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
		14～16	0	1	2	0	2	1	2	0	0	8	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
		16～18	0	0	2	2	2	4	1	0	1	12	0	0	1	2	1	1	1	0	0	6
		18～20	1	0	1	3	2	1	4	0	0	12	0	0	0	0	0	3	1	0	0	4
		20～22	0	0	2	5	1	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
		22～24	0	0	3	1	1	1	1	0	0	7	0	0	0	0	2	1	1	0	0	4
		計	1	1	20	19	14	18	13	3	1	90	0	0	3	5	5	6	4	0	1	24
	状態別	自動車乗車中	0	0	4	6	1	5	6	1	0	23	0	0	1	4	4	2	3	0	1	15
		自動二輪車乗車中	0	0	4	3	5	5	0	0	0	17	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
		原付自転車乗車中	0	0	0	1	1	2	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		自転車乗車中	1	1	12	7	7	6	7	2	1	44	0	0	2	1	1	3	1	0	0	8
		特定小型原付	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		歩行中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	1	1	20	19	14	18	13	3	1	90	0	0	3	5	5	6	4	0	1	24	

5-1. トラック 関東の 車種別、事故類型別・人身事故件数

- ①追突事故は、1255件で全体の約41.8%を占めており、出会い頭衝突(287件)や左折時衝突(274件)の4倍以上発生している。
- ②死亡事故は、横断歩道横断中が11件で全体の約20.4%を占めている。
- ③左折時衝突においては、大型車が143件で左折時衝突の約52.2%を占めており、大型車において最も死亡事故の件数が多くなっている。
- ④準中型は、出会い頭衝突が114件で出会い頭衝突の約39.7%を占めている。

【2025年】

(単位:件)

			貨物自動車																			
			大型				中型				準中型				普通				合計			
			死亡	重傷	軽傷	計	死亡	重傷	軽傷	計	死亡	重傷	軽傷	計	死亡	重傷	軽傷	計	死亡	重傷	軽傷	計
人対車両	対面通行中		0	1	2	3	0	0	1	1	1	1	9	11	0	0	2	2	1	2	14	17
	背面通行中		0	2	4	6	1	1	6	8	0	1	10	11	1	0	5	6	2	4	25	31
	横断中	横断歩道	5	8	15	28	3	8	32	43	3	8	23	34	0	3	9	12	11	27	79	117
		横断歩道付近	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	3	3	0	0	0	0	0	1	4	5
		横断歩道橋付近	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
		その他①	4	3	0	7	1	2	5	8	0	5	9	14	0	2	6	8	5	12	20	37
	路上遊戯中		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1
	路上作業中		1	0	3	4	0	2	3	5	0	1	1	2	0	0	1	1	1	3	8	12
	路上停止中		0	1	0	1	0	0	5	5	0	1	3	4	0	0	0	0	0	2	8	10
	路上横臥中		1	0	0	1	1	1	0	2	0	1	2	3	0	0	0	0	2	2	2	6
	その他②		1	1	6	8	0	0	9	9	0	4	13	17	0	0	2	2	1	5	30	36
小計		12	16	30	58	7	15	62	84	4	22	74	100	1	5	25	31	24	58	191	273	
車両相互	正面衝突	追越・追抜	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
		その他③	0	4	4	8	1	2	9	12	1	0	8	9	0	0	1	1	2	6	22	30
	追突	進行中	2	11	54	67	2	4	60	66	1	5	31	37	0	0	4	4	5	20	149	174
		駐・停車中	2	21	338	361	1	7	304	312	0	8	345	353	0	2	53	55	3	38	1,040	1,081
	出会い頭衝突		2	10	49	61	0	11	56	67	3	11	100	114	0	4	41	45	5	36	246	287
	追越・追抜時衝突		1	10	68	79	0	7	47	54	0	4	51	55	0	1	4	5	1	22	170	193
	進路変更時衝突		1	7	112	120	0	1	32	33	0	1	22	23	0	0	5	5	1	9	171	181
	すれ違い時衝突		0	1	11	12	0	1	9	10	0	0	12	12	0	0	1	1	0	2	33	35
	左折時衝突		6	25	112	143	0	5	59	64	0	8	46	54	0	0	13	13	6	38	230	274
	右折時衝突		1	10	45	56	1	6	34	41	0	11	51	62	0	2	13	15	2	29	143	174
	横断時衝突		0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	4	4
	転回時衝突		0	0	2	2	0	0	3	3	0	0	4	4	0	1	1	2	0	1	10	11
	後退時衝突		0	1	42	43	0	0	28	28	0	1	29	30	0	1	9	10	0	3	108	111
	その他④		0	0	35	35	1	1	33	35	1	5	52	58	0	3	7	10	2	9	127	138
	小計		15	100	874	989	6	45	675	726	6	54	753	813	0	14	152	166	27	213	2,454	2,694
車両単独	小計	0	3	10	13	1	2	4	7	2	1	11	14	0	0	2	2	3	6	27	36	
列車		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計		27	119	914	1,060	14	62	741	817	12	77	838	927	1	19	179	199	54	277	2,672	3,003	

注) ・その他①：横断歩道、横断歩道付近、及び横断歩道橋付近以外の道路の部分を歩行者が横断していたときに事故が発生したことをいう。

・その他②：上記のいずれの項目にも該当しない場合をいう。

・その他③：相対する方向から進行（前進）してきた車両と向き合ったまま衝突した場合をいう。

・その他④：車両相互事故のうち、上記のいずれの類型にも該当しないものをいう。

5-2. トラック 関東の 運輸支局別、車種別死亡事故件数（その1）

- ①大型トラックの死亡事故は27件発生しており、行動類型別では直進等速が12件（44.4%）、左折が10件（37.0%）と、この2類型で全体の81.4%を占めた。特に交差点における発生が14件（51.9%）と過半数を占めている
- ②中型トラックの死亡事故は14件発生しており、行動類型別では直進等速が11件で全体の78.6%を占めた。また、時間帯別では0～6時に10件（71.4%）が発生しており、深夜・早朝時間帯に事故が集中している。

【2025年】

(単位：件)

運輸支局			関東									
			東京	神奈川	千葉	埼玉	茨城	群馬	栃木	山梨	合計	
大型	行動類型	発進	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		直進	加速		0	0	0	0	0	0	0	0
			等速		1	3	1	4	0	2	1	0
			減速		0	0	0	0	0	0	0	0
			追越・追抜		0	0	0	0	0	0	0	0
		進路変更	右に		0	1	0	0	0	0	0	1
			左に		0	0	0	0	1	0	0	1
		左折			2	1	2	2	1	2	0	0
												10
		右折時	専用車線利用		0	0	0	1	0	0	0	0
			その他		0	0	1	0	0	0	0	1
		後退			0	0	0	1	0	0	0	0
					0	0	0	0	0	0	0	1
		停止			0	0	0	0	0	0	0	0
					0	0	0	0	0	0	0	0
		合計	3	5	4	8	1	5	1	0	27	
	道路形状	交差点	環状交差点		0	0	0	0	0	0	0	0
			その他		1	2	3	4	1	3	0	14
		交差点付近	環状交差点		0	0	0	0	0	0	0	0
			その他		1	0	0	0	0	0	0	1
		単路	トンネル		0	0	0	0	0	0	0	0
			橋		0	1	0	1	0	0	0	2
			カーブ・屈折		1	0	0	0	0	1	0	2
			その他		0	2	1	3	0	2	0	8
		踏切	第一種		0	0	0	0	0	0	0	0
			第三種		0	0	0	0	0	0	0	0
			第四種		0	0	0	0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0	0	0	0
		合計	3	5	4	8	1	5	1	0	27	
	時間帯	0～4		0	1	0	0	0	0	0	0	1
		4～6		0	1	0	2	0	0	0	0	3
		6～8		0	0	1	1	0	0	0	0	2
		8～10		0	0	1	0	1	1	0	0	3
		10～12		1	0	2	2	0	0	0	0	5
		12～14		1	0	0	0	0	2	0	0	3
		14～16		0	2	0	1	0	0	0	0	3
		16～18		0	0	0	0	0	0	0	0	0
		18～20		0	0	0	0	0	0	0	0	0
		20～22		0	1	0	2	0	0	0	0	3
		22～24		1	0	0	0	0	2	1	0	4
		合計		3	5	4	8	1	5	1	0	27
中型	行動類型	発進	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		直進	加速		0	0	0	0	0	0	0	0
			等速		0	2	3	3	0	0	0	11
			減速		0	0	0	0	0	0	0	0
		進路変更	右に		0	0	0	0	0	0	0	0
			左に		0	0	0	0	0	0	0	0
		左折			1	0	0	0	0	0	0	1
			専用車線利用		0	0	0	0	0	0	0	0
		右折時	その他		0	1	1	0	0	0	0	2
					0	0	0	0	0	0	0	0
		後退			0	0	0	0	0	0	0	0
					0	0	0	0	0	0	0	0
		合計	1	3	4	3	3	0	0	0	14	
	道路形状	交差点	環状交差点		0	0	0	0	0	0	0	0
			その他		1	2	3	0	0	0	0	6
		交差点付近	環状交差点		0	0	0	0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	1	0	0	1
		単路	トンネル		0	0	0	0	0	0	0	0
			橋		0	0	1	0	0	0	0	1
			カーブ・屈折		0	0	0	0	0	0	0	0
			その他		0	1	0	3	2	0	0	6
		踏切	第一種		0	0	0	0	0	0	0	0
			第三種		0	0	0	0	0	0	0	0
			第四種		0	0	0	0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0	0	0	0
		合計	1	3	4	3	3	0	0	0	14	
	時間帯	0～4		0	2	2	1	1	0	0	0	6
		4～6		0	1	1	0	2	0	0	0	4
		6～8		0	0	0	0	0	0	0	0	0
		8～10		0	0	0	1	0	0	0	0	1
		10～12		1	0	0	0	0	0	0	0	1
		12～14		0	0	0	0	0	0	0	0	0
		14～16		0	0	0	0	0	0	0	0	0
		16～18		0	0	0	0	0	0	0	0	0
		18～20		0	0	0	0	0	0	0	0	0
		20～22		0	0	1	0	0	0	0	0	1
		22～24		0	0	0	1	0	0	0	0	1
		合計		1	3	4	3	3	0	0	14	

5-3. トラック 関東の 運輸支局別、車種別死亡事故件数（その2）

①準中型トラックの死亡事故は12件発生しており、直進等速中の事故が9件（75.0%）を占めた。また、道路形状別では交差点が6件（50.0%）と最も多い。

②大型・中型・準中型トラックの死亡事故が複数件発生しているのに対し、普通トラックの死亡事故は1件にとどまっており、直進中に単路部で発生している。

【2025年】

（単位：件）

運輸支局			関東								合計
			東京	神奈川	千葉	埼玉	茨城	群馬	栃木	山梨	
準中型	行動類型	発進	0	1	0	0	0	0	0	0	1
		直進	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		加速	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		等速	2	3	1	2	1	0	0	0	9
		減速	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		追越・追抜	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		進路変更	0	1	0	0	0	0	0	0	1
		右に	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		左に	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		左折	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		右折時	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		専用車線利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		後退	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		停止	1	0	0	0	0	0	0	0	1
		合計	3	5	1	2	1	0	0	0	12
	道路形状	交差点	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		環状交差点	2	2	1	1	0	0	0	0	6
		その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		交差点付近	0	1	0	0	0	0	0	0	1
		トンネル	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		単路	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		橋	1	0	0	0	1	0	0	0	2
		カーブ・屈折	0	2	0	1	0	0	0	0	3
		その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		踏切	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		第一種	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		第三種	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		第四種	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		合計	3	5	1	2	1	0	0	0	12
	時間帯	0～4	0	1	0	0	0	0	0	0	1
		4～6	1	1	0	1	0	0	0	0	3
		6～8	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		8～10	0	0	0	1	0	0	0	0	1
		10～12	0	1	0	0	0	0	0	0	1
		12～14	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		14～16	1	0	0	0	1	0	0	0	2
		16～18	0	1	1	0	0	0	0	0	2
		18～20	1	0	0	0	0	0	0	0	1
		20～22	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		22～24	0	1	0	0	0	0	0	0	1
		合計	3	5	1	2	1	0	0	0	12
普通	行動類型	発進	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		直進	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		加速	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		等速	1	0	0	0	0	0	0	0	1
		減速	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		追越・追抜	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		進路変更	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		右に	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		左に	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		左折	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		右折時	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		専用車線利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		後退	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		停止	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		合計	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	道路形状	交差点	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		環状交差点	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		交差点付近	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		トンネル	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		単路	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		橋	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		カーブ・屈折	1	0	0	0	0	0	0	0	1
		その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		踏切	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		第一種	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		第三種	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		第四種	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		合計	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	時間帯	0～4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		4～6	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		6～8	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		8～10	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		10～12	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		12～14	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		14～16	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		16～18	1	0	0	0	0	0	0	0	1
		18～20	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		20～22	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		22～24	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		合計	1	0	0	0	0	0	0	0	1

転回・横断・蛇行・急停止・駐車（運転者不在）・その他は関東では0件なので非表示

5-4. トラック 全国の 車種別、危険認知速度等別人身事故件数 【追突と全ての合計】

- ①危険認知速度別では、10km/h以下が933件、20km/h以下が433件であり、合わせて1,366件となる。これは追突事故全体3,651件の37.4%を占めている。追突事故件数は速度が高くなるほど減少する傾向にあるが、死亡事故率は上昇している。例えば90km/h以下では追突67件中死亡8件で11.9%に達しており、10km/h以下の0.2%（933件中2件）を大幅に上回る。
- ②道路形状別では、単路の追突事故は、合計2,273件となり、全追突事故の62.3%を占めて、交差点関連（交差点・交差点付近）の1,370件を大きく上回っている。
- ③衝突地点別では、第一通行帯での追突事故が1,923件発生しており、全追突事故の52.7%を占めている。また死亡事故も23件発生している。

【2025年】

（単位：件）

				事故件数 ※（ ）内は死亡事故件数									
				大型		中型		準中型		普通		合計	
				追突	合計	追突	合計	追突	合計	追突	合計	追突	合計
危険認知速度	10km/h以下			480(2)	1,166(22)	220	636(5)	196	650(4)	37	175	933(2)	4,895(31)
	20km/h以下			151(1)	498(20)	125	338(5)	131	362(1)	26	103(1)	433(1)	2,515(27)
	30km/h以下			140(1)	304(4)	130	226(1)	125	236(3)	27	58	422(1)	1,479(8)
	40km/h以下			209	443(6)	176	316(1)	170	254(3)	32(1)	54(3)	587(1)	1,562(13)
	50km/h以下			236(3)	478(15)	157(2)	271(9)	97(1)	177(4)	17	29	507(6)	1,234(28)
	60km/h以下			148(2)	345(14)	134	206(6)	74	106(6)	6	15	362(2)	775(26)
	70km/h以下			70(2)	158(15)	53	69(3)	24	31	3	5	150(2)	277(18)
	80km/h以下			76(2)	207(13)	49(2)	65(3)	16	26	1	1	142(4)	309(16)
	90km/h以下			52(6)	119(8)	13(2)	22(4)	2	3	0	0	67(8)	146(12)
	100km/h以下			10	21	18(3)	22(4)	3	4	1	1	32	57(4)
	120km/h以下			0	1	3	3	0	0	0	0	3	4
	120km/h超			1	1	0	0	0	0	0	0	1(2)	1
	不明			5(2)	13(5)	3	4	4	11	0	2	12	48(5)
道路形状	交差点	環状交差点		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他		119	958(39)	85	616(19)	79	593(11)	12	192(2)	295	4,693(71)
	交差点付近	環状交差点付近		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他		460(4)	644(11)	330	463(3)	236	326(1)	49(1)	72(1)	1,075(5)	2,328(16)
	単路	トンネル		44	81(5)	30	39	18	21	4	5	96	159(5)
		橋		56(2)	119(5)	45(1)	64(1)	39	49	7	7	147(3)	283(6)
		カーブ屈折		47(3)	175(21)	30	65(2)	22	55(3)	4	10	103(3)	404(26)
		その他		846(12)	1,678(41)	560(8)	884(16)	447(1)	757(6)	74	150(1)	1,927(21)	5,104(64)
	踏切			0	1	0	0	1	1	0	0	1	3
一般交通の場所			6	98	1	47	0	58	0	7	7	328	
衝突地点	単路（交差点付近含む）	歩道	自転車通行指定部分	0	0	0	1	0	3	0	0	0	11
			その他	4	63(6)	3	38	1	38(1)	1	15	9	299(7)
		路側帯		10	37(8)	4(1)	23(2)	2	19	1	5(1)	17(1)	134(11)
		非分離道路		21	86(2)	18	69(1)	23	100(1)	7	19	69	658(4)
		自転車車道		0	1	0	0	0	0	0	0	0	4
		自転車専用通行帯		0	1	0	0	0	1	0	1	0	4
		第一通行帯		845(17)	1,470(46)	576(5)	837(14)	415(1)	636(8)	87	148	1,923(23)	4,469(68)
		第二通行帯以上		527(4)	953(16)	372(3)	504(5)	293	365	38(1)	50(1)	1,230(8)	2,424(22)
		左折専用車線		3	4	2	3	3	3	0	0	8	13
		右折専用車線		22	38	15	25	10	14	3	4	50	103
		加減速車線		6	8(1)	3	5	6	6	0	1	15	23(1)
		登板車線		1	1	0	0	0	0	0	0	1	1
	交差点内	横断歩道		3	305(20)	8	190(9)	7	138(5)	1	44	19	1,118(34)
		自転車横断帯		0	16(2)	0	5	0	5	0	0	0	44(2)
		自転車車道		1	3	0	0	0	0	0	0	1	7
		自転車専用通行帯		0	3	1	2	0	2	0	0	1	8
		その他		115	630(17)	76	419(10)	72	445(6)	11	148(2)	274	3,510(35)
	その他			20	135(4)	3	57	10	85	1	8	34	472(4)

5-5. トラック 全国の 車種別・行動類型等別人身事故件数 【追突と全ての合計】

- ①行動類型別では、「直進・等速」が 2,235件 と突出しており、追突事故全体の 61.2% を占めており、「発進」が 716件（19.6%） で、直進等速に次いで多い。
- ②人的要因では「漫然運転」（802件） 「特に危険がないとして注視を怠った動静不注視」（834件）が突出して多く、合わせると全体の44.8%を占めている。

【2025年】

（単位：件）

				事故件数										※（ ）内は死亡事故件数	
				大型		中型		準中型		普通		合計			
				追突	合計	追突	合計	追突	合計	追突	合計	追突	合計		
行 動 類 型	発進			398(4)	493(6)	156	222	132	235(1)	30	59	716(4)	1,752(7)		
	直進	加速		17	41	15	27	15	38	3	9	50	227		
		等速		889(17)	1,374(66)	719(9)	1,057(30)	539(1)	824(14)	88(1)	164(3)	2,235(28)	5,279(113)		
		減速		240	291(1)	173	200(1)	137	165	27	42	577	1130(2)		
	追越・追抜			2	49	0	32	1	23	0	0	3	138		
	進路変更	右に		8	217(4)	4	78	2	48(2)	0	8	14	396(6)		
		左に		7	429(5)	6	70	1	38	0	8	14	591(5)		
	左折			1	423(26)	2	174(2)	2	143	0	43(1)	5	1,264(29)		
	右折時	専用車線利用		4	84(5)	0	49	3	34(1)	0	13	7	278(6)		
		その他		2	140(4)	2	128(6)	2	139(2)	2	58	8	1,133(12)		
	転回			0	14	0	9	0	15	0	4	0	85		
	後退			5	169(3)	1	109(2)	6	112	0	22	12	784(5)		
	横断			0	7(1)	1	5	0	3	0	3	1	38(1)		
	蛇行			0	1	0	0	0	1	0	0	0	2		
	逆走			0	0	0	0	0	1	0	0	0	1		
	急停止			1	3	1	1	1	1	0	0	3	7		
	停止			2	6	1	9	1	28(1)	0	9	4	119(1)		
	駐車（運転者在）			0	1	0	1	0	3	0	0	0	14		
	その他			2	12(1)	0	7	0	9	0	1	2	64(1)		
人 的 要 因	発 見 の 遅 れ	内 在 的	居眠り運転	8(2)	14(2)	6	12(1)	10	18	2	3(1)	26(2)	64(4)		
			ラジオ・ステレオ等を聞いていた	0	0	2	3	1	1	0	0	3	6		
			雑談や携帯電話等で話をしていた	2	3(1)	2	2	2	2	0	1	6	11(1)		
			その他、考え事等の漫然運転	301(4)	448(17)	279(3)	373(9)	187(1)	246(4)	35	46	802(8)	1,629(30)		
		外 在 的	物を落とした、物を取ろうとした	77	91	71	80(1)	55	59	8	11	211	383(1)		
			同乗者、同乗の動物等に脇見	3	4	1	1	3	4	1	1	8	18		
			スマートフォン、携帯電話等を見ていた、操作していた	10	14(2)	11	14(2)	7	13(2)	0	0	28	75(6)		
			テレビ、ナビゲーション装置を見ていた、操作していた	5	7	2	5	5	5	0	0	12	27		
			雑誌、地図帳等を見ていた	12	15	13	16	16	16	4	4	45	74		
			道、案内標識等を探して脇見	15	29(1)	19	30(2)	10	18	3	5	47	125(3)		
			風景、地物等に脇見	103(4)	133(7)	76(1)	105(3)	70	90(2)	10	17	259(5)	512(12)		
			他の車、歩行者に脇見	99(2)	144(5)	45	65(2)	33	49(1)	7	13	184(2)	389(8)		
	バックミラーやドアミラーを見ていた	25	37(3)	13	15	4	8	1	2	43	85(3)				
	その他の脇見	126(2)	159(8)	89(4)	111(5)	92	114(2)	11(1)	16(1)	318(7)	627(16)				
	安全不確認	安全確認をしなかった	36(1)	442(13)	25	228(2)	23	242(2)	4	65	88(1)	1,843(17)			
		安全確認が不十分だった	112(2)	1,222(38)	57	546(7)	65	578(6)	7	168(2)	241(2)	4,490(53)			
	判 断 の 誤 り 等	動 静 不 注 視	相手が譲ってくれると思って注視を怠った	10	38(1)	2	19	3	18	1	6	16	129(1)		
			他の危険を避けようとして注視を怠った	16	25	9	17	1	4	3	6	29	76		
			その他特に具体的危険性がないとして注視を怠った	408(2)	504(4)	220	289(3)	177	226	29	38	834(2)	1,476(7)		
			運転感覚（速度、車幅、距離等）を誤った	11	56(4)	11	31	5	22	0	1	27	142(4)		
		予 測 不 適	相手がルールを守ると思った	1	3	0	2	0	3	0	1	1	16		
			相手が譲ってくれる、停止してくれると思った	0	5	0	3	0	1	0	1	0	16		
			他の事故（危険）を避けようと思った	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1		
		交 通 環 境	その他相手の行動予見等の判断を誤った	7	20(1)	7	14	3	9	0	1	17	75(1)		
道路形状、道路線形に対する認識を誤った			0	6	0	3	0	3(1)	0	1	0	19(1)			
道路環境（路面凍結や霧など）に対する認識を誤った			14	25(2)	3	3	1	4	0	2	18	41(2)			
交通規制に対する認識を誤った			0	5	0	3	0	7	0	3	0	40			
交通安全施設に対する認識を誤った			0	4	0	2	0	0	0	0	0	9			
操 作 上 の 誤 り	操 作 不 適	障害物等に対する認識を誤った	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2			
		その他の交通環境に対する認識を誤った	1	6	0	0	0	2	0	0	1	18			
		ブレーキとアクセルの踏み違い	4	4	3	3	7	8	3	4	17	55			
		ブレーキの踏みが弱い、踏み遅れ	112	134	68	85	32	37	11	12	223	382			
		急ブレーキをかけた	5	9(1)	6	6	1	2	0	0	12	27(1)			
		エンジン・ブレーキを使用しなかった	2	3	3	3	5	6	0	0	10	12			
		その他のブレーキ操作不適	37	49	31	49	18	23	7	7	93	176			
		ブレーキをかけながらハンドル操作	0	6(2)	0	1	1	1	0	0	1	13(2)			
		その他のハンドルの操作不適	0	45(5)	0	20(2)	0	7	2	4	2	110(7)			
		ギアの入れ違い	2	3	1	2	0	1	0	0	3	9			
その他の操作不適	11	28	5	10(1)	5	10	1	4	22	67(1)					
他の車両等の通行を妨害する目的で運転した			0	0	0	0	0	0	0	0	0	3			
調査不能〔運転者（自転車等以外）で人的要因が不明の場合〕			3(2)	12(5)	1(1)	6(1)	0	3(1)	0	0	4(3)	30(7)			
人的要因なし〔運転者（自転車等以外）で人的要因がない場合〕			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			

6-1. 軽トラック 関東の 事故類型別・人身事故件数

①事故類型別では、車両相互事故：1,915件(82.8%)、人対車両事故：368件(15.9%)、車両単独事故：30件(1.3%)となっており、車両相互事故が全体の大半を占めている。

②追突事故は、628件で全体の27.2%を占めており、この内、575件(91.6%)が駐停車車両への追突となっている。

③死亡事故14件のうち、人対車両で6件発生しており、歩行者事故に集中している。

【2025年】

(単位:件)

			軽貨物			
			死亡	重傷	軽傷	計
人対車両	対面通行中		0	2	27	29
	背面通行中		1	3	35	39
	横断中	横断歩道	1	10	108	119
		横断歩道付近	1	3	8	12
		横断歩道橋付近	0	0	0	0
		その他①	3	20	69	92
	路上遊戯中		0	1	6	7
	路上作業中		0	2	8	10
	路上停止中		0	0	7	7
	路上横臥中		0	3	1	4
	その他②		0	6	43	49
	小計		6	50	312	368
車両相互	正面衝突	追越・追抜	0	0	0	0
		その他③	0	3	19	22
	追突	進行中	1	3	49	53
		駐・停車中	0	9	566	575
	出会い頭衝突		3	49	511	563
	追越・追抜時衝突		0	2	61	63
	進路変更時衝突		0	0	17	17
	すれ違い時衝突		0	2	16	18
	左折時衝突		0	7	121	128
	右折時衝突		0	27	174	201
	横断時衝突		0	0	7	7
	転回時衝突		0	1	13	14
	後退時衝突		0	2	118	120
	その他④		0	7	127	134
	小計		4	112	1,799	1,915
車両単独	小計		4	5	21	30
列車			0	0	0	0
合計			14	167	2,132	2,313

注) ・その他①：横断歩道、横断歩道付近、及び横断歩道橋付近以外の道路の部分歩行者が横断していたときに事故が発生したことをいう。

・その他②：上記のいずれの項目にも該当しない場合をいう。

・その他③：相対する方向から進行（前進）してきた車両と向き合ったまま衝突した場合をいう。

・その他④：車両相互事故のうち、上記のいずれの類型にも該当しないものをいう。

6-2. 軽トラック 関東の 運輸支局別、車種別死亡事故件数

- ①行動類型別では、直進等速：8件（57.1%）、直進加速：2件（14.3%）、発進：1件（7.1%）となっており、直進中が合計10件で死亡事故全体の71.4%を占めている。
- ②道路形状別では、交差点：6件、交差点付近：3件となり、計9件で死亡事故全体の64.3%を占める。
- ③死亡事故14件の内、東京・神奈川で10件（71.4%）と都市部に集中しており、時間帯別では0～6時が5件（35.7%）を占め、深夜・早朝に多く発生している。

【2025年】

（単位：件）

運輸支局			関東								
			東 京	神奈川	千 葉	埼 玉	茨 城	群 馬	栃 木	山 梨	合計
軽貨物	行動類型	発進	0	1	0	0	0	0	0	0	1
		直進	1	0	0	1	0	0	0	0	2
			2	3	1	1	1	0	0	0	8
			0	0	0	0	0	0	0	0	0
		追越・追抜	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		進路変更	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	0	0	0	0
		左折	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		右折時	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			2	1	0	0	0	0	0	0	3
		合計	5	5	1	2	1	0	0	0	14
	道路形状	交差点	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			2	3	0	1	0	0	0	0	6
		交差点 付近	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			1	1	0	1	0	0	0	0	3
		単路	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	0	0	0	0
			0	1	0	0	1	0	0	0	2
			1	0	1	0	0	0	0	0	2
		踏切	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	1	0	0	0	0	0	0	0	1
		合計	5	5	1	2	1	0	0	0	14
	時間帯	0～4	1	2	1	0	0	0	0	0	4
		4～6	0	0	0	0	1	0	0	0	1
		6～8	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		8～10	1	0	0	0	0	0	0	0	1
		10～12	0	1	0	0	0	0	0	0	1
		12～14	1	1	0	0	0	0	0	0	2
		14～16	0	0	0	1	0	0	0	0	1
		16～18	1	0	0	0	0	0	0	0	1
		18～20	0	1	0	1	0	0	0	0	2
		20～22	1	0	0	0	0	0	0	0	1
		22～24	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		合 計	5	5	1	2	1	0	0	0	14

転回・後退・横断・蛇行・逆走・急停止・停止・駐車（運転者不在）・その他は関東では0件なので非表示

6-3. 軽トラック 全国の 危険認知速度等別人身事故件数 【追突と全ての合計】

- ①追突事故1,570件のうち、10km/h以下：428件（27.3%）、20km/h以下：323件（20.6%）、30km/h以下：266件（16.9%）となっており、30km/h以下で1,017件（64.8%）を占める。低速域に集中している一方、死亡事故にあっては40km/h以上の高速域で発生している。
- ②道路形状別では、追突事故の多くが単路で発生しており、合計876件で追突事故全体の55.8%を占める。
- ③衝突地点別では、第一通行帯：847件（53.9%）発生しており、死亡事故も3件発生している。

【2025年】

（単位：件）

			事故件数※（ ）内は死亡事故件数		
			軽貨物		
			追突	合計	
危険認知速度	10km/h以下		428	2,268(3)	
	20km/h以下		323	1,214(4)	
	30km/h以下		266	655(2)	
	40km/h以下		281(1)	495(3)	
	50km/h以下		187(1)	279(6)	
	60km/h以下		61(1)	103(3)	
	70km/h以下		8(1)	14(2)	
	80km/h以下		6	10(1)	
	90km/h以下		1	2(1)	
	100km/h以下		4	9	
	120km/h以下		0	0	
	120km/h超		0	0	
不明		5	18(1)		
道路形状	交差点	環状交差点	0	0	
		その他	164	2,334(11)	
	交差点付近	環状交差点付近	0	0	
		その他	527(1)	823(3)	
	単路	トンネル	10	13	
		橋	41	44	
		カーブ屈折	16	99(3)	
		その他	809(3)	1,635(8)	
	踏切		0	1	
一般交通の場所		3	118(1)		
衝突地点	単路（交差点付近含む）	歩道	自転車通行指定部分	0	7
			その他	5	145(1)
		路側帯		0	50(1)
		非分離道路		56	384(3)
		自転車道		0	3
		自転車専用通行帯		0	1
		第一通行帯		847(3)	1,378(6)
		第二通行帯以上		453	552(1)
		左折専用車線		2	3
		右折専用車線		17	22
		加減速車線		3	3
		登板車線		0	0
	交差点内	横断歩道		8	441(2)
		自転車横断帯		0	18
		自転車道		0	4
		自転車専用通行帯		0	1
		その他		156	1,868(9)
	その他			23(1)	187(3)

6-4. 軽トラック 全国の 行動類型等別人身事故件数 【追突と全ての合計】

- ①行動類型別では、直進・等速：896件（死亡4件）となっており、追突事故全体の57.1%を占めている。また、発進時の追突事故は320件（20.4%）発生している。
- ②人的要因では「漫然運転」が355件（死亡3件）で全体の22.6%を占め最多となり、「具体的危険はない」として注視を怠った動静不注視274件となった。

【2025年】

（単位：件）

					事故件数※（ ）内は死亡事故件数	
					軽貨物	
					追突	合計
行動類型	発進			320	743(1)	
	直進	加速		35	112(2)	
		等速		896(4)	1,860(18)	
		減速		270	432	
	追越・追抜			1	34	
	進路変更	右に		5	45(1)	
		左に		5	46	
	左折			8	481	
	右折時	専用車線利用		8	98	
		その他		4	668(4)	
	転回			2	43	
	後退			8	372	
	横断			1	20	
	蛇行			0	0	
	逆走			0	0	
急停止			0	2		
停止			7	67		
駐車（運転者在）			0	9		
その他			0	35		
人的要因	発見の遅れ	前方不注意	内在的	居眠り運転	8	17
				ラジオ・ステレオ等を聞いていた	2	2
				雑談や携帯電話等で話していた	0	3
				その他、考え事等の漫然運転	355(3)	516(8)
				物を落とした、物を取ろうとした	128	142
			外在的	同乗者、同乗の動物等に脇見	5	8
				スマートフォン、携帯電話等を見ていた、操作していた	22	34
				テレビ、ナビゲーション装置を見ていた、操作していた	3	10
				雑誌、地図帳等を見ていた	17	23
				道、案内標識等を探して脇見	26	43(1)
		安全不確認	風景、地物等に脇見	117	167(1)	
			他の車、歩行者に脇見	63	118(1)	
			バックミラーやドアミラーを見ていた	17	23	
			その他の脇見	167	227(1)	
			安全確認をしなかった	42	866(1)	
			安全確認が不十分だった	118	1,976(6)	
	判断の誤り等	動静不注視	相手が譲ってくれると思って注視を怠った	3	48	
			他の危険を避けようとして注視を怠った	8	24	
			その他特に具体的危険性がないとして注視を怠った	274(1)	419(2)	
			予測不適	運転感覚（速度、車幅、距離等）を誤った	4	32
				相手がルールを守らなかつた	0	7
				相手が譲ってくれる、停止してくれると思った	0	6
		交通環境		他の事故（危険）を避けようと思った	0	0
			その他相手の行動予見等の判断を誤った	6	31	
			道路形状、道路線形に対する認識を誤った	0	6(1)	
			道路環境（路面凍結や霧など）に対する認識を誤った	1	7	
			交通規制に対する認識を誤った	1	22	
			交通安全施設に対する認識を誤った	0	3	
			障害物等に対する認識を誤った	0	0	
			その他の交通環境に対する認識を誤った	1	10	
	操作上の誤り	操作不適	ブレーキとアクセルの踏み違い	23	36	
			ブレーキの踏みが弱い、踏み遅れ	103	114	
			急ブレーキをかけた	7	10	
			エンジン・ブレーキを使用しなかった	0	0	
			その他のブレーキ操作不適	37	48(1)	
			ブレーキをかけながらハンドル操作	2	5	
その他のハンドルの操作不適			1	34(1)		
ギアの入れ違い			0	3		
その他の操作不適			6	15		
他の車両等の通行を妨害する目的で運転した			1	3		
調査不能〔運転者（自転車等以外）で人的要因が不明の場合〕				2	9(2)	
人的要因なし〔運転者（自転車等以外）で人的要因がない場合〕				0	0	

7. 業態別法令違反件数【2025年】

- ①事業用自動車全体では、「安全不確認」の件数が最も多い。
- ②乗合バスでは「動静不注視」や「運転操作」の件数が多い。
- ③貸切バスでは「脇見運転」や「動静不注視」の件数が多い。
- ④タクシーでは「脇見運転」や「交差点安全進行」の件数が多い。
- ⑤トラック（軽貨物除く）では「脇見運転」や「動静不注視」の件数が多い。
- ⑥軽貨物では「脇見運転」や「交差点安全進行」の件数が多い。

(単位:件)

		バス				タクシー	トラック	軽貨物	合計
		乗合	貸切	その他	小計				
安全運転義務違反	安全不確認	132	31	0	163	1,447	870	770	3250
	脇見運転	17	8	0	25	274	452	260	1011
	動静不注視	50	17	0	67	250	440	218	975
	漫然運転	10	2	0	12	176	305	168	661
	運転操作	72	5	0	77	199	193	110	579
	安全速度	1	0	0	1	4	6	2	13
	その他	32	3	0	35	52	47	21	155
交差点安全進行		21	5	0	26	650	252	372	1300
歩行者妨害等		11	1	0	12	219	73	83	387
信号無視		10	3	0	13	119	116	55	303
一時不停止		0	0	0	0	104	38	74	216
優先通行妨害		1	0	0	1	83	30	59	173
徐行違反		0	0	0	0	17	4	18	39
横断・転回等		0	0	0	0	22	13	3	38
通行区分違反		1	1	0	2	3	17	10	32
左折違反		0	0	0	0	9	16	4	29
車間距離不保持		2	1	0	3	8	14	4	29
過労等		0	0	0	0	11	6	6	23
追越し禁止		1	0	0	1	2	16	4	23
右折違反		1	1	0	2	6	3	5	16
酒酔い運転		0	0	0	0	1	0	3	4
整備不良		0	0	0	0	0	3	0	3
最高速度違反		0	0	0	0	0	1	0	1
その他の違反		16	3	0	19	152	85	62	318
不明		0	0	0	0	4	3	2	9
合計		378	81	0	459	3,811	3,003	2,310	9,583

法令違反における主な用語の定義

前方不注意

運転者自身の心理的、生理的な要因により動作を伴わないで行われる前方不注意及び動作を伴って行われる前方不注意によって、事故を発生させたもの

安全不確認

確認が可能な状態にありながら、前方・左右や後方の安全確認が不十分だったため、歩行者や他の車両等を発見できず、又は発見が遅れ、事故を発生させたもの。

脇見運転

前方の交通状況を認識せず運転したため、歩行者や他の車両等の発見が遅れて事故を発生させたもの。

動静不注視

歩行者や他の車両等の存在を認識していたにもかかわらず、注視を怠り事故を発生させたもの。

漫然運転

前方を見ているにもかかわらず、考え事等をして状況を把握出来ず歩行者や他の車両等を見落としてしまうもの。

安全速度

交差点や横断歩道、見通しの悪いところなどを走行する際に徐行や減速等状況に応じた安全な速度で走行せず、事故を発生させたもの。

交差点安全進行

交差点を進行する際に、歩行者や他の車両等に対する注意を怠り運転したため事故を発生させたもの。

参考. 事業用自動車の保有台数（全国・関東）

【関東における各業態の保有台数(2025年)】

- ・バスでは、2019年をピークに徐々に減少していたが、横ばいとなっている。
- ・タクシーでは、年々減少傾向にあったが、増加に転じている。
- ・トラックでは、増加傾向で推移しているが、2021年以降はほぼ横ばい傾向である。
- ・軽貨物では、年々増加傾向の右肩上がりとなっている。

(単位:台)

	全国					関東				
	バス	タクシー	トラック	軽貨物	合計	バス	タクシー	トラック	軽貨物	合計
2015	112,984	237,357	1,095,216	228,685	1,674,242	36,775	83,156	342,167	81,607	543,705
2016	115,584	235,445	1,110,914	232,598	1,694,541	37,645	82,624	346,456	83,953	550,678
2017	116,098	231,924	1,126,879	242,886	1,717,787	37,937	81,697	350,247	89,581	559,462
2018	115,956	227,858	1,145,096	258,560	1,747,470	38,118	80,804	355,204	97,380	571,506
2019	115,454	224,990	1,164,479	271,978	1,776,901	<u>38,305</u>	80,265	361,206	103,498	583,274
2020	111,579	216,160	1,173,772	291,008	1,792,519	37,420	77,123	364,084	112,926	591,553
2021	108,420	210,702	1,178,425	304,600	1,802,147	36,474	75,554	364,300	118,077	594,405
2022	106,764	207,910	1,175,355	318,571	1,808,604	35,990	74,564	363,237	123,451	597,242
2023	106,403	214,119	1,175,223	321,022	1,816,767	36,051	76,728	362,932	125,164	600,875
2024	106,198	222,534	1,175,078	321,368	1,825,178	36,116	80,789	362,434	126,044	605,383
2025	106,706	230,463	1,176,266	326,949	1,840,384	36,398	84,433	362,992	128,962	612,785
	(0.48%)	(3.93%)	(0.1%)	(1.74%)	(0.83%)	(0.78%)	(4.51%)	(0.15%)	(2.32%)	(1.22%)

※各年12月末時点の保有台数を示す。
※2025の（ ）内は、対前年比を示す。

参考. 運輸支局別 事業用自動車の保有台数(関東)

【2025年^{12月末時点}】(単位:台)

	バス	タクシー	トラック					合計
			普通	小型	被けん引	軽貨物	小計	
東京	11,209 (491)	48,257 (9,653)	57,018	12,088	8,295	41,355	118,756 (5,207)	178,222 (15,663)
神奈川	6,943 (188)	12,346 (2,139)	46,929	4,409	11,171	27,786	90,295 (2,844)	109,584 (5,215)
埼玉	5,048 (312)	6,833 (345)	63,397	5,086	4,496	24,402	97,381 (3,770)	109,262 (4,392)
群馬	1,175 (119)	2,095 (57)	20,142	868	3,045	4,460	28,515 (1,280)	31,785 (1,465)
千葉	6,124 (396)	8,407 (749)	44,184	3,430	7,529	18,669	73,812 (2,512)	88,343 (3,625)
茨城	3,297 (283)	3,184 (191)	31,939	1,841	7,875	6,453	48,108 (2,400)	54,589 (2,916)
栃木	1,806 (144)	2,209 (136)	18,593	964	2,269	3,928	25,754 (1,208)	29,769 (1,501)
山梨	796 (79)	1,102 (63)	6,280	347	797	1,909	9,333 (529)	11,231 (674)
合計	36, 398 (2,012)	84,433 (13,333)	2878,482	29,033	45,477	128,962	491,954 (19,831)	612,785 (35,451)

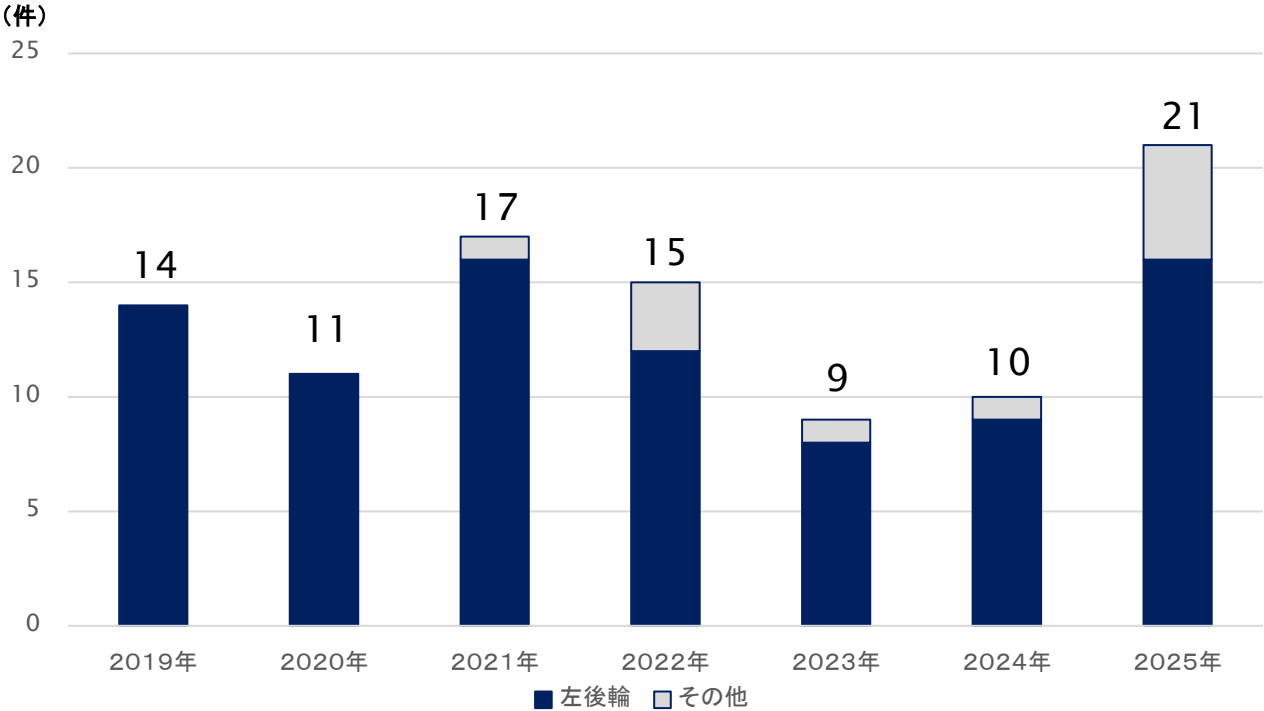
※ () 内は、2025年3月31日時点の事業者数(貨物軽自動車運送事業者を除く)を示す。

【2024年^{12月末時点}】(単位:台)

	バス	タクシー	トラック					合計
			普通	小型	被けん引	軽貨物	小計	
東京	11,029	46,443	57,638	12,360	8,382	40,430	118,810	176,282
神奈川	6,931	12,104	46,593	4,419	11,155	27,104	89,271	108,306
埼玉	5,033	6,465	63,122	4,976	4,386	23,933	96,417	107,915
群馬	1,196	1, 839	19,982	875	2,954	4,123	27,934	30,969
千葉	5, 985	7,818	43,857	3,415	7,466	18,595	73,333	87,136
茨城	3,344	3,024	31,826	1,851	8,123	6,184	47,984	54,352
栃木	1,801	2,059	18,468	957	2,229	3,747	25,401	29,261
山梨	797	1,037	6,264	353	783	1,928	9,328	11,162
合計	36, 116	80,789	287,750	29,206	45,478	126,044	488,478	605,383

※普通：小型より大きい車両(被けん引を除く)
小型：長さ4. 7m以下、幅1. 7m以下、高さ2. 0m以下の車両(被けん引を除く)等

大型車の車輪脱落事故の推移



自動車事故報告規則に基づく報告及び自動車メーカーからの報告より

運転者の健康状態に起因する事故報告件数の推移

